

少しずつ、夕方になるとすずしい日が増えて、暗くなるのが早くなってきましたね。
 これから、学芸会の練習も多くなり忙しくなりますが、あたらしい本も入ったので、
 図書室で読んだり、借りておうちでゆっくり見たりしてもらえたら嬉しいです。

いざという時の備え、できていますか？

夏休み中に熊本では、大きな地震がありました。災害はいつ起こるかわかりません。
 備えと聞くと、【水・食料・衣類？】など、まずは、物の備えを考えるとします。
 もちろん、物の備えはとても大事ですが、併せて、防災の知識を知っておくと、い
 ざという時に、落ち着いて行動することができますよ。

図書室にある、この防災の本がおすすめです！



本の中身をすこし紹介します！

1 家族といっしょに決めておこう

とつぜん起きる地震、前もって予測ができる台風・洪水・土しゃくずれ・暴風、災害にどの
 ように防災するの、家族と話し合います。

身をかす場所はどこがいい？

地震が起きたら、つくえの下にもりましょう。かくれる
 場所がなかったら、クッションや服で身をまもらう。本
 だや食器だなどなくとも、テレビや電子レンジなど
 が飛んできてもあります。なるべく身を低くして、近
 くに物が無い場所を選んでかくれましょう。

家の中でくつをはく！？

壁の平でクッションやまどなどのガラスが割れたら、その場
 所に近づかないようにして、くつをはきましょう。ガラス
 が割れたら、その破片は遠くまで飛び散ります。大きな破
 片を踏まないように、小さな破片をふんでクガをまいてしま
 うこともあります。家族がもってくるまでは、壁の平でく
 つをはいてもいいように家族で決めておきましょう。

心がけてほしいこと！

地震は、1秒起きたらしばらくは起きない、なんてことはありません。ひよつとしたら1分間
 後、1日後、1週間後にもっと大きな地震が起きるかもしれません。地震が起きたら1週間てい
 どは気をゆるめないようにして、防災グッズをチェックしましょう。

避難所へはい行く？

台風や豪雨のとき、家に一人だったら、ニュースをかくにんします。
 そこで避難したほうがよいと告げたら、避難が出る前、安全に
 移動ができるうちに非常用持ち出し袋を持って避難所へ行きましょう。移
 動するとき、荷時にどこへ向かうか、かならずメモを残しましょう。

**ランタンを用意して
広い場所のまんなかにいよう**

非常用の非常用ランタンの前をかりをつけて、
 家の平で近い場所のまんなかにいよう
 にしましょう。ラン
 タンのように壁
 内をまわって
 照らすと、火
 の危険と火災
 もおこします。

家族に連絡をする

家族がつながらないこともあるので、
 災害前非常用ダイヤル（P.31）を使うなど、
 連絡方法を家族で決めておきましょう。

**信頼できる大人に
声をかけておこう**

災害後は、家族とすぐには会えないかもしれ
 ません。自分がどこにいるかを連絡
 できる大人に話し、あとで家族に伝えて
 もらいましょう。

おかしもので

こうどう

行動しよう！

おさない
かけない
しゃべらない
もどらない



じしん き ほんだな かなら はな み
 地震が来たときは、本棚からは、必ず離れて身を
 まも つくえ した まわ なに ひろ ばしよ
 守れる机の下や、周りに何もない広い場所に
 逃げるようにしてください！